

薬剤師外来 いきいき脳活性お薬教室

リバスタッチパッチを 正しく使用していただくために



目次



- 1. 認知症とは？**
- 2. 認知症ともの忘れのちがいは？**
- 3. アルツハイマー型認知症の症状**
- 4. アルツハイマー型認知症の経過**
- 5. アルツハイマー型認知症の治療**
 - ・リバスタッチパッチってなに？
 - ・使用方法は？
 - ・注意することは？
 - ・こんな症状がでてきたら？
 - ・症状がかわらないのでやめてもいい？
- 6. 暮らしのヒント**
- 7. 介護の心がけ**
- 8. 早期発見のためのチェック項目**

1. 認知症とは？



< 認知症の定義 >

いったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために、**社会生活に支障をきたすようになった状態**

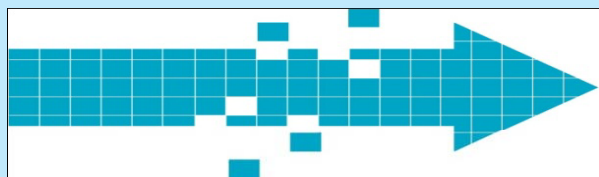
認知機能障害：知的な能力（記憶能力、思考判断力、言語機能など）の障害

認知症はれっきとした『病気』であり、恥ずかしいことではありません。
認知症を正しく理解することが大切です。

2. 加齢による“もの忘れ”、アルツハイマー型認知症の“もの忘れ”



加齢による“もの忘れ”



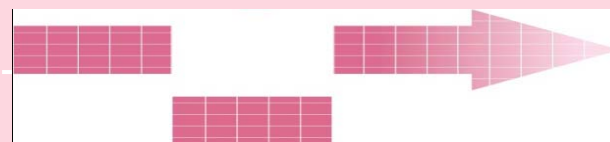
体験の一部を忘れる
(食事の内容を忘れることがある)

ヒントを与えられると思い出せる

〔人の名前が思い出せないことがある
→関連する事柄を示すと思い出せる〕

時間や場所などは正しく認識

アルツハイマー型認知症の “もの忘れ”



体験全体を忘れる
(食べたことを忘れる)

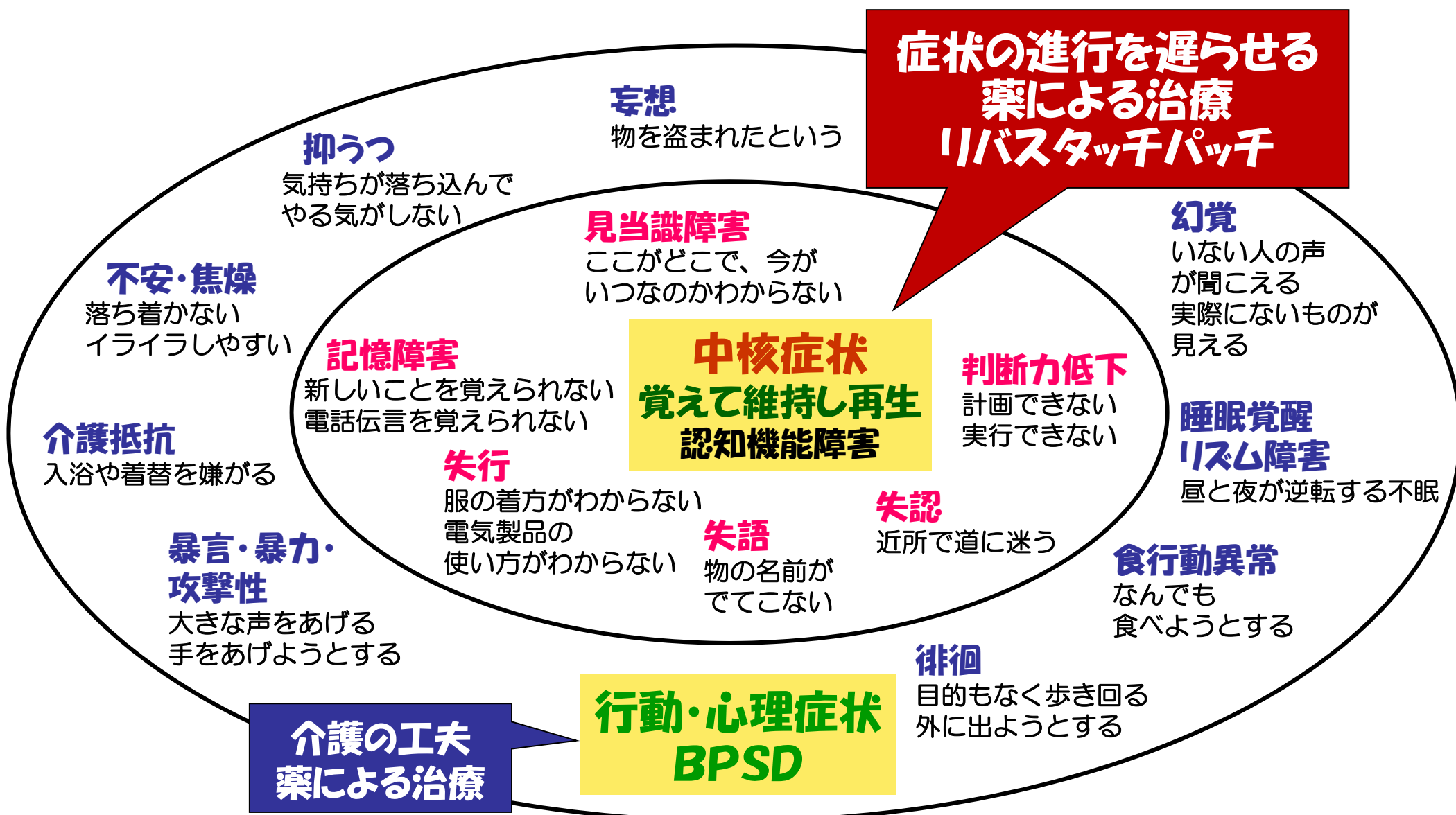
ヒントを与られても思い出せない

〔人の名前・顔が思い出せない
→写真など関連する事柄を
示してもその人を思い出せない〕

時間や場所などの認識が混乱

〔今日が何月何日で、自分が
どこにいるのかが分からなくなる〕

3. アルツハイマー型認知症の症状

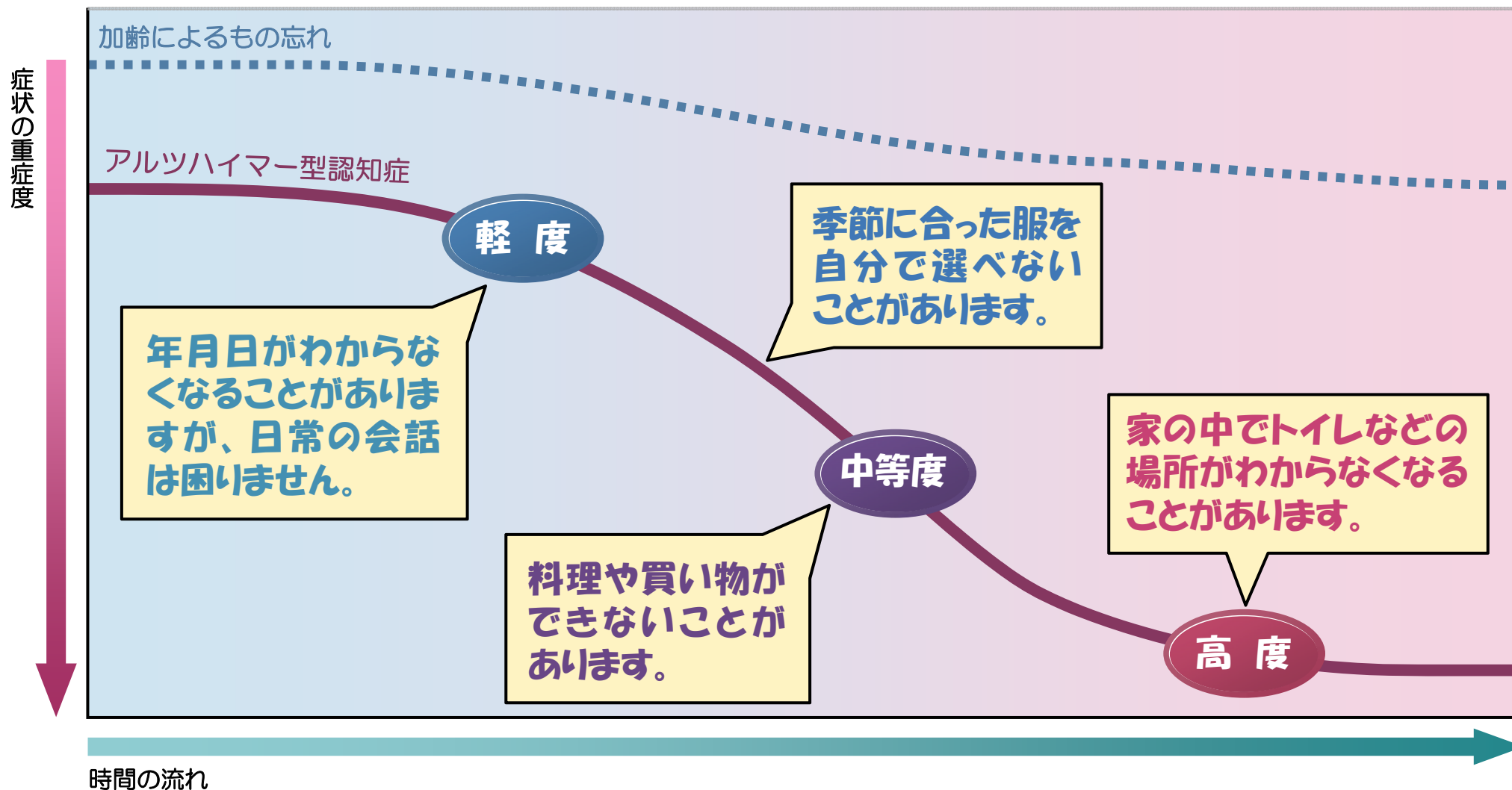


(BPSD : Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)

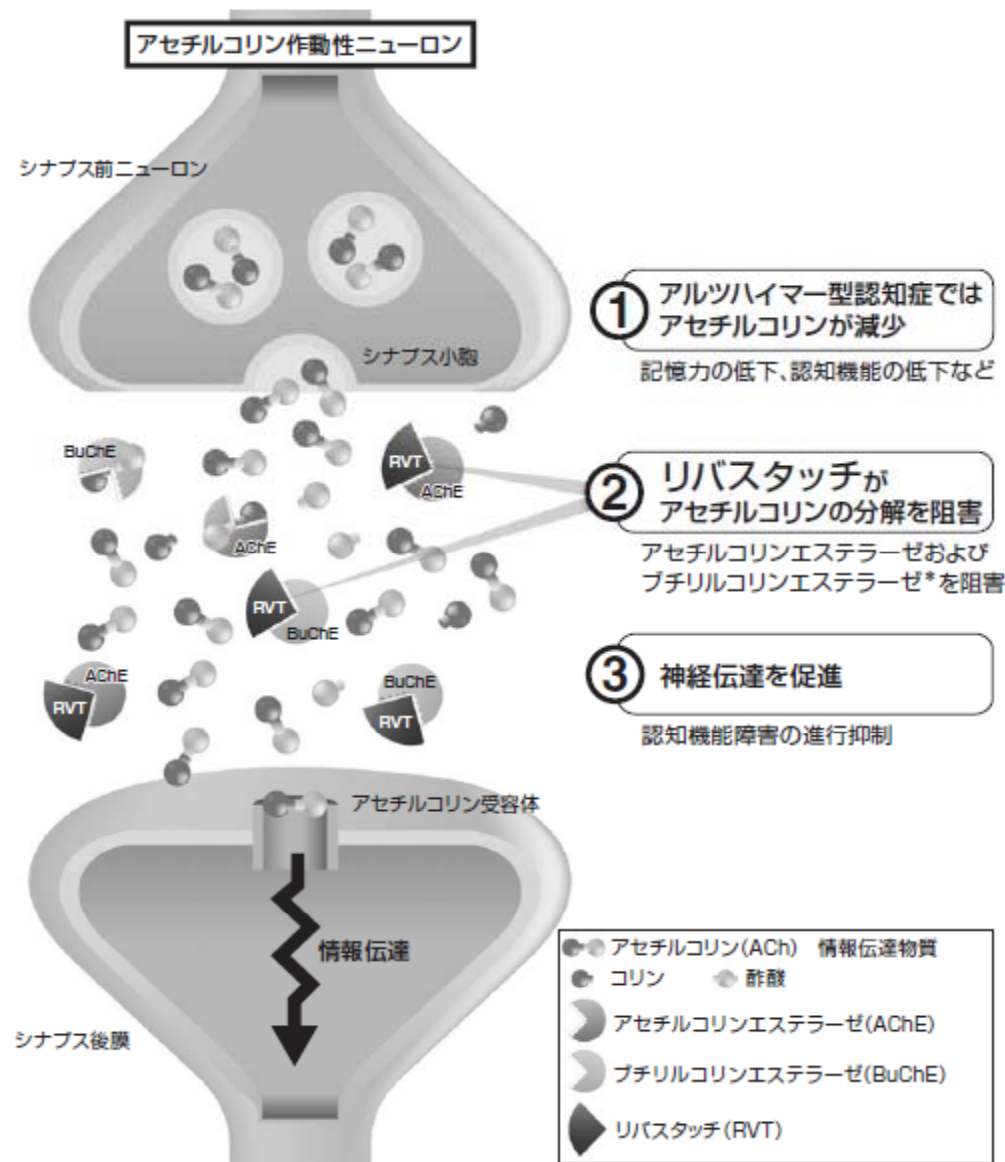
4. アルツハイマー型認知症の経過



アルツハイマー型認知症は、症状が徐々にすすんでいくのが特徴です。



5. アルツハイマー型認知症の治療（リバスタッチってなに？）



*ブチリルコリンエステラーゼを阻害することによる臨床的な意義は解明されておりません。

- アルツハイマー型認知症では、脳内アセチルコリンが減少して神経細胞の情報伝達が悪くなっていると考えられています。リバスタッチは脳内のアセチルコリンの分解を抑えて、情報伝達をよくするはたらきがあります。

- アルツハイマー型認知症の症状の進行を抑えるお薬です。認知症そのものを治す効果はありません。

5. アルツハイマー型認知症の治療（使用方法は？）



リバスタッチ®パッチの使用方法

1日に1枚貼り替えるお薬です。背中、胸、上腕のいずれかの場所に貼ってください。



小野薬品工業 「リバスタッチ®パッチの使用方法について（2011年7月作成 RVT-Z13）」より転載

リバスタッチパッチには 4.5mg、9mg、13.5mg、18mgの4種類があります。
原則として4.5mgから開始し、4週間ごとに9mg→13.5mg→18mgと段階的にパッチを変更した後、18mgのパッチを継続します。

5. アルツハイマー型認知症の治療（注意することは？）



リバスタッチ®パッチの使用上の注意

- ・ 1日に1枚貼り替えるお薬です。背中、胸、上腕のいずれかの場所に貼ってください。
- ・ お薬がはがれたときは新しいお薬に貼りかえ、はがれたお薬は捨ててください。
- ・ 使い終わったパッチは、接着面を内側にして半分に折りたたみ、捨ててください。
- ・ パッチをさわった後は、手を目にふれず、石鹸で手を洗ってください。

貼り忘れに気付いたときは

- ・ 貼り忘れに気付いたときは、気付いたときに貼ってください。
- ・ 4日間以上貼っていない期間がある場合は、次に使うパッチの大きさが変わることがありますので、主治医にご相談ください。

5. アルツハイマー型認知症の治療（こんな症状がでてきたら）



パッチを貼った場所に
赤みなどの皮膚症状が
出ることがあります。



皮膚症状の多くは自然に治りますが、続くこともあります。
その場合は、医師、薬剤師に相談して下さい。

皮膚症状を起こさないために…

- 傷口や湿疹のあるところには貼らないでください。
- 一度に2枚以上を貼らないでください。
- 同じ場所には続けて貼らないでください。
- 一度貼った場所にはなるべく2週間（14日間）以上空けてから貼りましょう。

5. アルツハイマー型認知症の治療（こんな症状がでてきたら）



飲み始めの時、めまい、
眠気などおこることが
あります。



服用開始の時期などに起こることがあるかもしれません。転倒など起こさないよう、十分注意して下さい。
車の運転など、危険をともしない機械の操作は控えて下さい。

嘔吐、軽い吐き気、
食欲不振などが起こる
ことがあります。



多くの場合、体が慣れれば症状は消えていきます。
症状が続いたり、胃のもたれ、痛み、便が黒くなるなどの症状が現れるようなら、医師、薬剤師に相談して下さい。

5. アルツハイマー型認知症の治療（こんな症状がでてきたら）



徐脈(脈が遅くなる)、
不整脈(脈が乱れる) など
起こることがあります。



脈が遅くなる、脈が乱れる、
などを感じた場合は、医師、
薬剤師に相談して下さい。

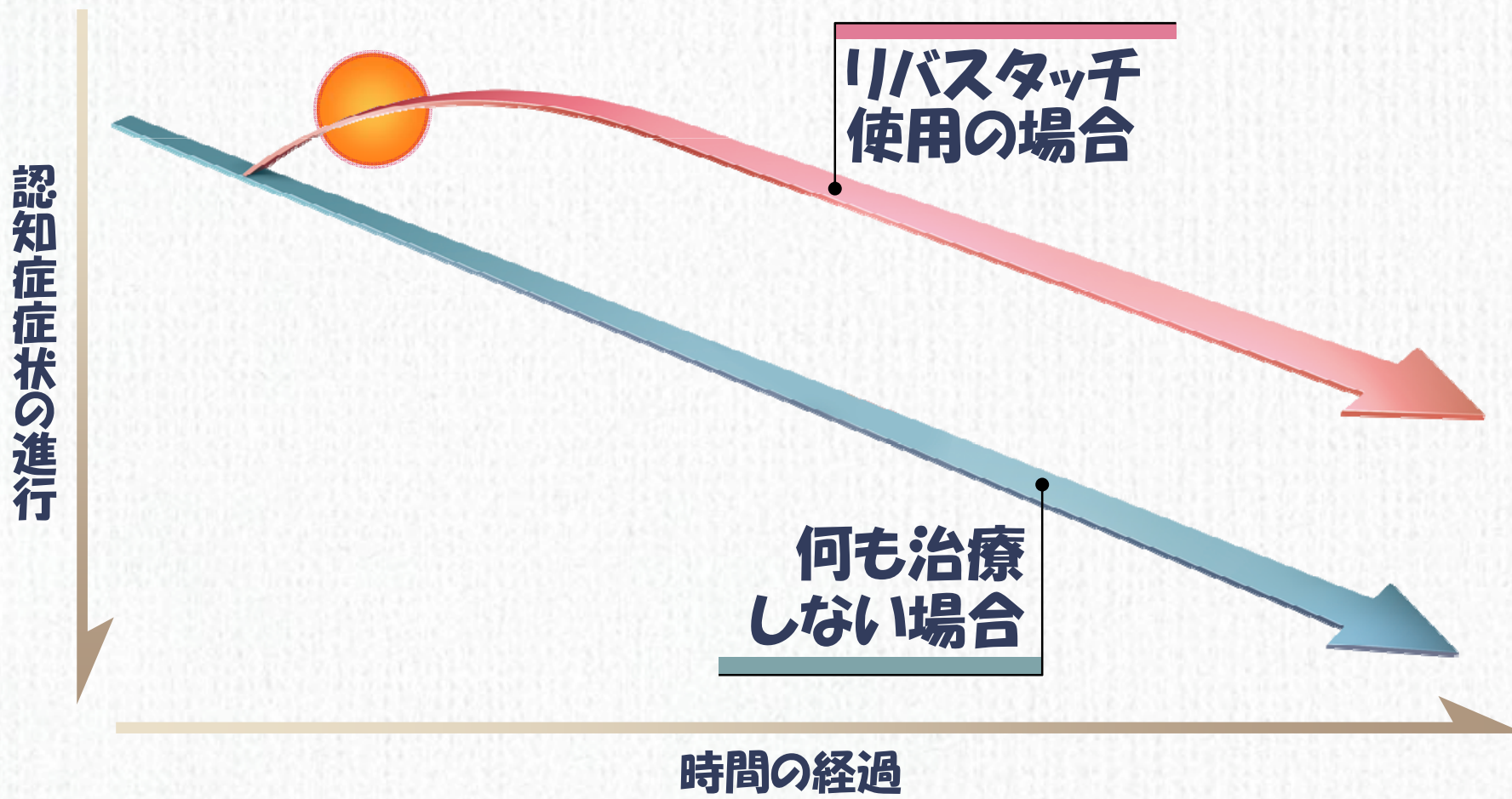
いらいら、怒りっぽい、
など起こることがあります。
気を失う、けいれんなどの
報告があります。



夜眠れないなど、いつもと違う
症状がでる場合には別のお薬が
追加されることもあります。

上記の症状の際には主治医・薬剤師に相談してください

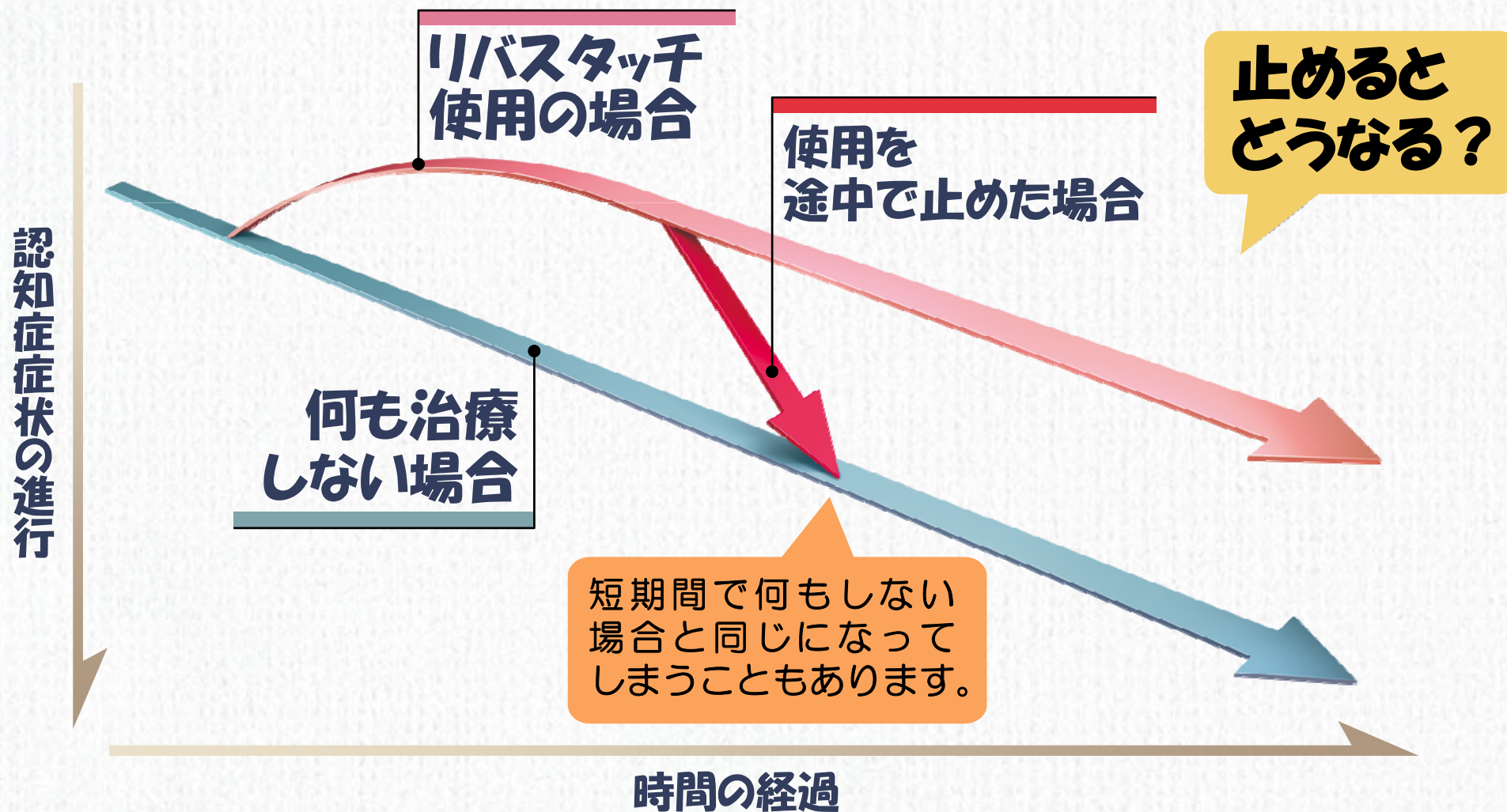
5. アルツハイマー型認知症の治療 (症状がかわらないのでやめてもいい?)



5. アルツハイマー型認知症の治療 (症状がかわらないのでやめてもいい?)



自己判断で勝手に中止しないでください



- 治療を中止すると何も治療しない場合と同じ状態まで症状が進んでしまうことがあります。

6. 暮らしのヒント



生活で気をつけることは？

認知症になりにくい生活

頭を使う趣味



読書・楽器の演奏
将棋・チェス



人と接する



仲間と料理

カラオケ



適度な運動

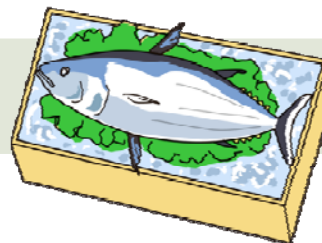
ウォーキング



野菜・果物・魚を食べる



VE



EPA

不飽和脂肪酸
オリーブオイル



7. 介護の心がけ



安心感が大切

ご本人の好きな音楽をかけたり、興味を持っているものを身近に置くなど、不安な気持ちを和らげましょう。一緒にお茶を飲んだり、話を聞いたりする時間を持つことで気分が落ち着き安心感が得られます。

否定しない

間違ったことを言っても、大きな支障がなければ否定してはいけません。否定的な言葉や態度は、ご本人が不安になるばかりでなく、介護者に不信感を抱く原因になります。

ペースを合わせる

介護にあせりは禁物です。せかさずゆっくり見守ることが大切です。

出来ることを、出来るだけ

ご本人の出来ることを見つけ手伝ってもらいましょう。小さなことでも役割をつくることで自信がつき気分が安定します。

8. 早期発見のためのチェック項目 (お気づきですか認知症の危険信号)



□記憶があやふやになる(記憶障害)

- ・ 同じことを何回も言ったり聞いたりする、物の名前が出てこない
- ・ 人と会う約束や日時を忘れる、置いた場所を忘れる、人の靴を履いて帰る

□今までできたことができなくなる(実行機能障害)

- ・ 簡単な計算の間違ひが多くなる、いつも大きなお金で支払いをする
- ・ 蛇口やガス栓の締め忘れが多くなる、2つのことが一度にできない

□やる気がなくなる

- ・ 趣味に興味がなくなる、日課をしなくなる
- ・ 身だしなみに気をかけなくなる、季節の衣替えができない

□性格が変わる

- ・ ささいなことで怒りっぽくなる
- ・ 以前よりも疑い深くなる

□時間や場所が不確かになる(見当識障害)

- ・ 慣れているところで道に迷う、いつも降りる駅で乗り過ごす
- ・ 今日の日付けがわからない、時間がわからない

8. 認知症 生活のご様子確認表



- ① もの忘れて、日常生活に支障をきたすようになってから、どのくらいたちますか？
- ② 認知症の方のご様子についてチェックしてください

生活のご様子確認票

1)以前より良くなっている

- どのような点が良くなっていると感じますか？

生活のご様子確認票

CHECK

2)以前と変化が見られない

- このお薬は、認知症の症状の進行を抑えるものです。そのため、症状に変化がないことも、お薬の効果になります。

3)以前より悪くなっている

- 服薬はしっかりできていますか？
飲み残しなどはないですか？
- どのような点が悪くなっていると感じますか？
- このお薬は症状の進行に応じて、10mgまで服用することが可能です。一度、主治医にご相談ください。

生活のご様子確認票

CHECK

日付や季節感や場所などが不確かと思うことはありますか？
年月日の感覚が不確か(だいたいわかる)
季節や場所がわからないことがあるが、ヒントがあれば答えられる
家の中でトイレなどの場所がわからない
会話など意思疎通にお困りのことはありますか？
日常の会話には困らない。知識も保たれている
必要なことは言うことができる。簡単な会話はわかる
簡単な会話はわかるが、自分から何かを要求することはない
簡単な会話もわからないが、気持ちを表現することはいづらかできる
お風呂はご自身で入ることができますか？
自分でお風呂に入ることができる
お風呂に入ることを忘れることもあるが、自分で体を洗うことや温度調節ができる
手助けなしで、お風呂にきちんと入ることができない (お湯の温度や量の調整ができない、体をうまく洗えない)
衣類(洋服)をご自身で選んだり、着たりできますか？
自分で衣類を選び着ることができる
ふさわしい衣類をそろえるなどの介助があれば、衣類を着ることができる
手助けなしで、状況にあった衣類を選んで着ることができない
トイレでの失敗などはありませんか？
一人でトイレをすませることができる
トイレの水を流すのを忘れてたり、きちんと拭くことを忘れる

*ピンク色の帯の症状は、高度アルツハイマー型認知症に進行している可能性があります。

筑波大学 精神科 教授 朝田 隆
住友病院 副院長 宇高 不可思